



薬小っ子スタンダード  
当たり前のことを  
当たり前に行ける子に

# 薬師寺小だより

平成30年1月  
下野市立  
薬師寺小学校長  
鈴木一恵



自分のことは  
自分でする

やさしく



テレビやゲームの  
時間を決める

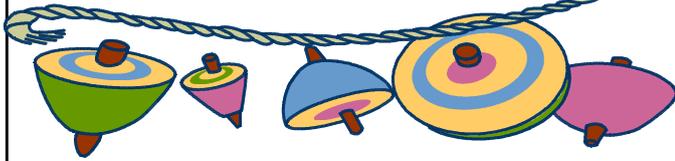
かしこく



家族と一緒に  
正しい食習慣

たくましく

## 明けまして おめでとうございます



### ☆本年もどうぞ宜しくお願いいたします☆

2018年(平成30年)の幕が開けました。今年  
は冬季オリンピックやサッカーワールドカップ等  
が開催され子ども達の夢が膨らむ年になりそうです。

1月9日、14日間の長い冬休みを終えた子ども達が  
厳しい寒さにも負けず元気に登校してきました。各  
教室には「今年もがんばろう」「良い年にしたいね」  
など担任からのメッセージが板書され、意欲に燃え  
た子ども達を迎えていました。ある教室では、担任  
が「戌」という文字を板書しておいたところ、先生  
が間違っただかと思っ、さっさと「成」に直してあ  
げている子がおり、初笑いしてしまいました。「あ！」  
と思いましたが、その得意そうな姿が微笑ましく、  
そのままその場を去りました。

この「戌」という文字は「一」と  
「戈(力、ほこ)」という意味が含まれ  
ており、これには作物を刈り収穫し、  
ひとまとめにするという意味もあるそう  
です。豊穰、繁栄の年になるといいですね。



犬と言えば「犬も歩けば棒に当たる」は一年生で  
も知っている諺。一般的には「何かをしようとすれ  
ば、思いがけない災難に遭う」というたとえに用い  
られていますが、「何かをしているうちに思いがけな  
い幸運に出会うこともある」という意味もあるそう  
です。ちなみに英語では、



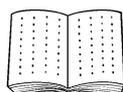
「The walking dog finds a bone.」  
(犬も歩けば骨に会う)だそうです。な  
るほど、犬にとってとてもラッキーなことですね。

犬が登場する物語もたくさんありますね。昨年の  
児童や保護者アンケートによると「読書好き」の傾  
向は6割弱にとどまっておちよつと残念な結果に。

親しみのある動物を扱った物語を読んだことがき  
っかけとなり「本が好きになった」ということがよ  
くありますので、今年はその機会にしたいですね。

新年を迎えた図書室では、早速、東浦先生が「犬  
が登場する本コーナー」を作ってくれました。今年  
もいろいろな工夫で「行ってみたいくなる図書室」を  
目指してくれています。

毎日の音読カードも読書意欲につながっています。  
「同じ作者の本をもっと読んでみたい」  
という思いが芽生えたらチャンス到来、  
図書室が子ども達の心に応えてくれます。



## 本は心を育てます 読書環境を作りましょう

読書は想像力と知恵を与え、豊かな心を育てます。  
特に小学生は心を育てる大切な時期ですので、読書  
ができる環境を作るとはとても大切です。

**時間を決めて1日30分、テレビを消して家族で読書  
できる環境を作りましょう。**

**大人も一緒に新聞等の活字に向かいましょう。時  
には子どもの頃に読んだ本の話をしてあげましょう。**

年の初めに私から子ども達に薦めたい本を一生懸  
命に考えました。選んだ一冊は**椋鳩十さんの『マヤ  
の一生』**です。戦争を背景とした切ないお話ですが、  
動物児童文学者として評価の高い椋鳩十さんならで  
はの動物のいきいきとした描写や人間との温かい関  
係に引き込まれます。小学生の心を育てるにふさわ  
しい貴重な一冊です。椋鳩十さんの作品は5年生の  
国語でも「大造じいさんとガン」が扱われています。

簡単なあらすじを紹介します。学校の図書室にも  
ありますし、南河内図書館に親子で出掛けてみるの  
もいいですね。

熊野の狩人からもらった犬「マヤ」と家族達は仲良く暮ら  
していました。家族全員になついていたがいちばんなつ  
いていたのが次男でした。次男はマヤがまだ小さかった初  
対面の日、真っ先に懐に入れて何時間もかわいがっていた  
からです。マヤは子ども達はもちろんのこと、ニワトリのピピ、  
ネコのベルとも一緒に遊び楽しい日々が過ぎていきました。

しかし、戦争が激しくなるにつれて、食べ物が少なくなり  
暮らしも厳しくなってきます。やがて、「犬を飼うのは贅沢だ」  
と村の役人が犬を飼っている人たちに犬を差し出すように言  
うようになります。最終的に飼う犬はマヤだけになりました。  
今まで何とか断っていたのですが、父親が留守の時に役人  
が家に来て、とうとう種畜場の広場へと連れ去られてしま  
います。そして、兄弟の目の前で大人がマヤの頭を太い棒で  
打ち付けたのです。兄弟は家にとび帰り、ショックで40度の  
熱を出して寝込みます。

その後、マヤは最後の力を振り絞って、家に帰ってきま  
した。次男が気配を感じ飛び起きて出て行くと、大好きだっ  
た次男の匂いのする下駄の上で冷たくなっていました。

この後、戦争が激しくなっていきます。前半はマヤと子  
ども達、ピピ、ベルなど家族との楽しい日常が描かれていま  
す。とても読み応えがあり、きっとマヤが好きになることで  
しょう。前半の平和でほのぼのとした毎日があるだけに、後  
半では余計に悲しくなり、戦中を生きた人々の辛さが伝わ  
てきます。

学校では1月22日から給食週間が始まりますが、第  
二次世界大戦による食料不足で学校の給食も中止にな  
った頃が『マヤの一生』の時代背景となっ  
ています。食べる物さえもなくなるというこ  
とを子ども達はどうか受け止めるでしょうか。



## 教育活動アンケート結果から

～御協力ありがとうございました～

アンケート結果から、A当てはまる・Bやや当てはまるの合計で90%以上だった項目をお伝えします。

日頃の御家庭の教育力と地域の皆様の御支援の素晴らしさを実感すると共に、本校教育活動を御理解頂き見守って下さっていることに感激致しました。

また、児童の思いや保護者の皆様の願いも知ることができました。「自信をもって発表したい」という思いは薬小っ子集会や授業の工夫の効果が上がっておりますので、引き続き児童の可能性を伸ばしていきたいと思えます。読書につきましては活動の工夫を図ると共に、御家庭に「家読(うちどく)」への取り組みもお願いしながら進めていきたいと思えます。

## 保護者アンケートから

### 学校で子供は・・・

- 元気に楽しく学校生活を送っているようだ
- 学校行事に生き生き取り組んでいるようだ
- 思いやりがあり他人を考えた行動が取れているようだ

### 家で子供は・・・

- 毎日、朝食を食べている
- 規則正しい生活をしている
- 地域の行事に参加しふるさと意識をもっている
- 自尊感情を育てている



### 学校は・・・

- 子どもの健康や体力の向上に努力している
- 郷土の歴史や地域を生かしたふるさと学習を進めている
- 保護者の連絡や相談に誠実に対応している
- 子どもの安全確保や事故防止に努力している
- 地域や保護者の協力・参加を得て教育を行っている
- 子どもをよく理解し適切に評価している

## 児童アンケートから

- 給食はおいしい
- 先生は分かりやすく勉強を教えてくれる
- 行事や校外学習などで家族や地域の人と一緒に活動することは楽しみだ
- 安全に気を付け規則を守って生活している
- 友だちと仲良く助け合って生活している
- 進んで清掃や奉仕作業をしている
- 先生は学習や友達のことと相談のしてくれる
- 自分によいところがあると思う



## 保護者の願いは・・・

- ◎ 進んで読書をしてほしいな
- ◎ 自分の意見をしっかり伝えるようになってほしいな
- ◎ 意欲をもって学習して欲しいな
- ◎ 決められた仕事をしてほしいな



## 児童の思いは・・・

- ◎ 先生や友だちの前で自分の意見を自信をもって発表できるようになりたいな



## 貴重なご意見ありがとうございました

貴重な御意見を今後の参考にさせていただきます。中には「いつも丁寧なご指導をしていただき感謝します。」「薬小祭の薬小っ子集会は全学年の発表が見られてとてもよかった。ぜひ来年も続けて。(多数)」「学校に行ったら元気に挨拶してくれて気持ちよかった。」「自主的に朝のボランティアをしていると聞き感心した。」等のお声を頂き職員の励みとなりました。ここでは御意見の中から全体に関わることに付いて触れさせていただきます。

### 1 学校行事について

- ・ 薬小祭の休憩所や運動会の場所取りで保護者のマナーが気になります。学校側もできることは限界があると思いますが、少しでも対処方法はないのでしょうか。(多数)
- ◇ 運動会、薬小祭、持久走大会と保護者の皆様あつての開催で心から感謝しておりますので、今後も一定のルールをお示ししなければならないことをとても心苦しく思います。本校は児童数が年々増えているため、運動会については、昨年から一家で一場所と日の出後の場所取りをお願いしましたが、現実には守られていないケースがあったと知り、とても残念でした。学校は子どもに生活のルールを教える場であることを意識していただきたく思います。また、学校行事は子ども達の晴れの舞台ですので、学校としてはPTA役員と御相談しながら対策を見直し、通知やメールで何度も繰り返し、御理解と御協力をお願いしていきます。

### 2 授業参観について

- ・ 廊下での保護者同士の私語が多く、子どもの声が聞こえないことがあります。集中して参観できず残念です。(多数)
- ・ 校庭駐車場に止めることができない時があるので対策をお願いします。
- ◇ 授業参観は学習に取り組むお子様の姿を見ていただける大切な時間です。担任もお子様の学ぶ姿をお見せたく、入念な準備をして授業に臨んでおります。話し声は思った以上に響くので学校でも頭を痛めています。開催通知や放送などで呼び掛け保護者の皆様の御協力をお願いしていきます。
- ◇ 来校されて駐車できずどんなに慌ててしまわれたことか申し訳ございませんでした。本校は児童数が増えており、駐車場数が限界となっています。また、今後の校庭のコンディションも考慮しますと、緊急時の引き渡しは別として、可能な方には相乗りや自転車、徒歩での来校をお願いし、状況を見させて頂きたいと思えます。御不便をお掛け致しますが現状を御理解の上、御協力をお願い致します。

### 3 学校生活について

- ・ 登下校のボランティアは地域で人数が違うのでしょうか。
- ◇ 安全ボランティアさんは薬小学区の皆様ならではの児童の安全を見守って下さる歴史ある組織で、地域の皆様の御厚意と御尽力に心から感謝申し上げます。地域を周知されている方々だからこそ安心安全なので、地域の方にお願ひできるのが最良だと思えますが、継続が難しい場合もあるそうですので、減少傾向は否めません。いずれにしても、お客様の登下校の安全は御家庭の下でお願いしていますので、これまで通り宜しくお願い致します。

### 4 その他

- ・ 小中一貫教育はこれからどのように進んでいくのでしょうか。
  - ◇ 市内全中学校区で取り組みが始まっていますが、本地区では平成34年度に9年制の義務教育学校が設立される予定です。年末の地域の皆様への説明会での資料が市ホームページにUPされています。様々な心配や不安を抱かれていますと思えますが、具体的な事の協議はこれからです。
- [トップ](#) > [ライブイベント](#) > [教育](#) > [下野市の取組み](#) > [小中一貫教育](#) > [南河内中学校区小中一貫教育推進における提言\(第二次提言\)](#)